



用水路よ～みてよ!?

⚠ 用水路転落事故に注意 ⚠

全国でも用水路転落による事故の報告がされていますが、岡山県では2015年に自転車やオートバイを運転中の転落死者数は**全国ワースト1位**(※)でした。岡山市では高齢者が特に、用水路に転落して死亡する事故が報告されています。

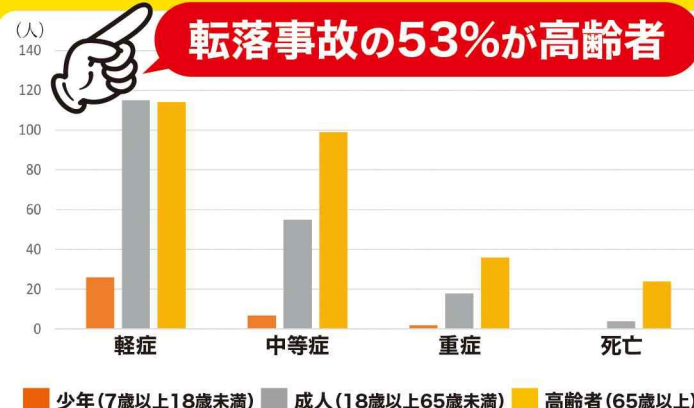
用水路転落に関する岡山市消防局警防部救急課の救急搬送データ(2017年から2021年までの5年間、583件)を活用し、調査・分析して、特徴や注意点をまとめました。※2016年6月29日付の朝日新聞より

3つの特徴『夕方・歩行者・高齢者』

＜用水路転落の年齢層と時間帯＞

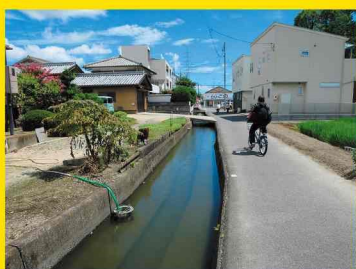


＜用水路転落の年齢層と症状の重さ＞



- 転落事故の発生地点は、岡山市内の特定な地域ではなく、市街地でも、郊外の農業地域でも幅広く見られます。ただし、転落事故が集中している地区もあります。
- **高齢者(65歳以上)**が**転落事故の53%**を占めており、転落した場合の死亡率は成人(18歳以上65歳未満)の4倍です。
- 転落事故について、高齢者は郊外の農業地域で多い傾向があります。
- 転落事故の最も多い時間帯は**17時から19時**です。
- 自動車(2輪を含む)、自転車以外の**歩行者などが46%**で最も多いです。

このような場所・時間帯は注意！



- 緩やかなカーブ、曲がり角、傾斜のある道路。
- 細い道路での徒歩、自転車などの交通量が多い所。
- 夜間暗く、安全柵がなく用水路との境界がわかりにくい所。
- 夕方の少し見えにくく、交通量の多くなる時間帯。

写真(左)：市街地の用水路転落地点(岡山市北区奥田南町付近)
写真(右)：農業地域の用水路転落地点(岡山市東区九幡付近)

岡山市『身近な地域での、用水路転落の実態』を2次元コードでご覧いただけます



①症状の重さ別の地図



②世代別の地図



③時間帯別の地図

この調査・分析の一部に岡山市の学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト(令和5年度)の補助金を活用しました。
用水路転落地点は住所等のデータを緯度経度に変換しているため多少のずれがある場合があります。
制作：ノートルダム清心女子大学文学部現代社会学科 人文地理学教室

裏面も
チェック!



用水路転落地点 症状の重さ別MAP



症状の重さ

- 軽症
- 中等症
- 重症
- 死亡